



### プラスαが大事

サッカーのワールドカップで話題になっていることのひとつに、応援をした後会場のごみを拾って帰る日本人サポーターのマナーの良さがあります。みんなが気持ちよく応援できるように行動する日本人サポーターの報道を見て、私もうれしくなりました。今回は、ルールとマナーについて考えたいと思います。

ルールには様々なものがあります。文章になっているもの（成文法）やなっていないもの（慣習法）がありますが、具体的には、社会の中では憲法や法律や条例等、学級では学習規律等がルールと呼ばれるものです。

人は自由に生きる権利や豊かに生きる権利、平等に生きる権利など基本的人権を持っています。ルールはその権利を守り、権利が衝突する場面ではそれを調整する役割があります。たとえば、人のものを盗んではならないのは人の財産権を侵害することになり、これが許されるとみんなが安心して暮らしていくことができません。だから、してはならないのです。また、人を傷つけるような言動も許されません。「何を言っても、何をやっても自由だ」と自分の自由権のみを主張することが許されれば、やはりみんなが安心して暮らしていくことができません。だから、**権利であっても制限されることがあり**

ます。権利はみだりに使うものではなく、**みんなの利益のために使う責任**があります。

このように、みんなが安心して豊かに暮らしていくために、してはならないことを明確に示し、権利を調整するためにルールはあります。**みんなが守らなければならないことがルール**です。

一方、マナーはどうでしょうか。食べ物を口の中に入れたまましゃべらないとか、出会った人とあいさつを交わすとか、席を譲りあうとかいろいろありますが、できると**みんなが気持ちよく暮らせる言動をマナーと呼ぶ**のではないのでしょうか。

ルールはできて当たり前のこと（±0・プラスマイナスゼロ）、マナーはできると**みんなが気持ちよく過ごせること（+α・プラスアルファ）**なのです。

こどもたちにはぜひ、どちらも身につけてほしいと思います。そのために、わたしたちが様々な場面で「やってみせて気づかせて、やらせて、できたらほめる」必要があります。特に**マナーは自然にできるようになるものではなく「学ぶ」ものだ**と思います。私たちの側からいうと学ばせる必要があります。なぜ学ばせる必要があるのかについては次号にしたいと思います。お楽しみに。

#### 【日本は】

サッカーのワールドカップも予選リーグが次々と行われています。この通信がお手元に届く頃には、日本代表とギリシャの結果も出ていることと思います。さて、結果はどうだったのでしょうか。ニュースが楽しみです。